

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市泉社会福祉センター
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
4 施設の利用状況	<p>《利用者数》</p> <p>令和2年度 12,610人（前年度比59%）</p> <p>令和元年度 21,522人（前年度比93%）</p> <p>平成30年度 23,179人（前年度比111%）</p> <p>《事業》 社会福祉を目的とする団体等に対して会議や研修等の活動の場を提供するとともに、各種講座の開催や福祉情報の提供及びボランティアの育成等を通して市民の福祉に対する理解・参加を促進し、地域福祉の増進に資する事業を実施する。</p>
5 収支の状況	<p>《費用》</p> <p style="text-align: right;">（ ）は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 27,927千円 （28,163千円） ・ その他市が負担した費用 1,158千円 （1,157千円） <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 0千円 （ 0千円） ・ その他収入 33千円 （ 32千円）
6 利用者の声	<p>《実施状況》</p> <p>利用者アンケート・主催講座参加者アンケート・利用報告書の御意見欄等を通し改善に取り組み、その結果を館内の掲示板に公開している。また、地域代表・利用者代表・福祉団体代表による運営委員会を設置し、運営の改善につなげている他、実施してほしいイベントや講座等の利用者ニーズに把握に努めている。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	<p>施設の設置目的に基づいた管理運営上の「基本方針」が確立されており、職員も理解している。また、「基本方針」を館内の掲示板に掲示し、利用者にも周知している。</p> <p>そのほか、短時間でも学べる手話教室や、親子で参加できる講座、一部講座の夜間開催を通じて、幅広い年代の利用者の増加を図るなど、施設の設置目的を達成できており、評価できる。</p>	39/39
II 施設の運営管理体制	<p>指定管理業務協定書及び仕様書、その他関係法令を遵守し、適切な施設運営がなされている。個人情報の保護に対する体制については、研修等を行う他、退庁時に書庫の施錠やクリアデスク等を徹底しており、評価できる。また、併設の障害者福祉センターや近隣施設を含めた地域一体での防災訓練等の取り組みにより、利用者の防災意識の向上を図っている点も評価できる。</p>	24/24
III 施設・設備の維持管理	<p>築29年を超える建物であるが、利用者の立場で建物の小規模修繕の必要性などを考え、適確に設備の維持管理を実施している。その他、植栽外構などの環境整備についても適切に行われており、評価できる。また、利用者や入居団体等の理解と協力を得ながら、新・仙台市環境行動計画に則した取り組みを積極的に行っている。</p>	24/24
IV サービスの質の向上	<p>併設施設である障害者福祉センター、社会福祉協議会泉区事務所等の窓口案内にも対応している。また、利用者等へアンケートを実施した結果抽出された課題については、利用団体の代表者等で構成される運営委員会で改善点等をまとめ、利用者へ公表するなど積極的なサービス向上に努めており、評価できる。</p>	28/28

<p>V 施設固有の基準</p>	<p>施設運営の基本方針を定めた事業計画に基づき目標を定め、企画立案が行われている。</p> <p>また、地域住民や利用者のニーズに応じた各種講座の開催により、地域住民との良好な関係を継続して構築するとともに、地域福祉の拠点としての機能も果たしており、評価できる。</p> <p>さらに、近隣にある福祉施設とも定期的に連絡会を開催する等連携を密にしており、また、地域要望に基づくボランティアマッチング等の取り組みも進められている点が評価できる。</p>	<p>10/10</p>
------------------	--	--------------

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
<p>①地域福祉の拠点として、貸館による福祉活動場所の提供、ボランティア養成のための講座開催及び福祉情報の提供等を通して、市民の福祉に対する意識、関心を高めるとともに併設の泉障害者福祉センター及び本会泉区事務所、地域の福祉活動団体と連携を図りながら事業に取り組んだ。</p> <p>②センター運営管理に関し、幅広い見地から意見をいただくため、運営委員会を2回開催し、障害者団体、単位町内会、ボランティア団体、登録団体、地区民生委員児童委員協議会に参加いただいた。</p> <p>③貸館事業にあたっては、新型コロナウイルスの感染防止対策のため、各部屋利用定員の半数を利用者数の上限とし、職員による各部屋の消毒の徹底、利用者には飛沫感染予防のため換気呼びかけるとともに机上用パーテーションの貸出をした。また、消毒セットを渡し、部屋使用後の消毒への協力を依頼し、感染予防の意識向上に努めた。</p> <p>④地域住民の福祉意識の高揚と増進については、点字・手話などのボランティア養成講座による福祉人材育成、講座の修了者へのボランティア活動へのマッチング支援を行った。また、本会泉区事務所と連携し、民生委員児童委員協議会等の活動支援を継続し、地域の福祉活動のネットワークづくりに取り組んだ。なお、集客の多い「センターまつり」「地域福祉講座」「地域活動団体交流会」は中止した。</p> <p>⑤地域福祉団体との連携では、近隣施設により構成する「ぬくもりの里」での施設長、実務担当者、看護師による会議を定期的に行い、施設間の情報共有を図り、センター主催の各種講座・教室への参加を促した。</p> <p>⑥災害対策の推進として、併設の泉障害者福祉センター、泉区事務所と防火管理委員会を組織化し、防火訓練を実施した。また、大規模な災害を想定して、福祉避難所の設置訓練を実施し、泉障害者福祉センター利用者の協力を得て、障害者が避難してきた際の受け入れ手順と問題点がないかどうかの確認を行った。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>併設施設である障害者福祉センターはもとより、「泉ふれあいの家」、「泉ひまわりの家」等の隣接する施設と連携を図りながら、地域で一体となった施設運営を行っており、高く評価できる。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響による休館や中止となった事業もあったが、参加者への継続的な連絡や開催の仕方を工夫することにより出席率の維持を図るなど、コロナ禍においても工夫を凝らした事業運営に努めている。さらに、傾聴ボランティア養成講座や手話教室等の修了者を対象に、スキルアップ研修、ボランティア活動へのマッチング及び自主グループの活動支援など、フォローアップにも力を入れており、地域福祉の担い手確保のための継続的・積極的な取り組みが評価できる。</p>	<p>S</p>

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局地域福祉部社会課